

第二回 G1 チャンピオンシップ 第一日目

チーム絶望：絶望のやまさん、さわんだー、八ツ橋

そう、我々は昨年山口県の宝島にて、夢の舞台に立っていた。瀬戸内海に浮かぶ無人の宝島！それだけでわくわくしていた。おそろしい急斜面の山（というより崖）に対峙し、命の危険を感じながら、宝を探す喜びに満たされていた。夜は満天の星空。自然の中を駆け回り、そしてとうとう海賊王の宝を手に入れた。宝探しを楽しみ、日常からかけ離れた空間で、普通に暮らしていたら一生体験できない極上の二日間を満喫したのである。充実感があった。しかし総合順位は5位。精一杯やったという気持ちもありながら、あと少し手を伸ばせば優勝できたのではないかという口惜しさ！今でもふとした時に宝島での出来事が思い出され、口惜しさと楽しさを回想していました。そうです、発見のよろこびも、優勝できなかった口惜しさも、すべて次へのステップなのです。

この一年間、この日を楽しみにしながらさらに宝探しの経験を積んできました。謎解きはひらめいた時の楽しさがあります。しかし宝探しは、半信半疑で現地に行って、あてが外れた時にはガッカリし、当たっていた時には驚きの宝物を発見すると同時に、すべての苦労が吹き飛ばすような喜びがあります。その地の空気を五感で感じ、思わぬ人との出会いや素晴らしい景色の発見と感動もあいまって、記憶に深く残る体験、身に染みる体験をすることができます。

今回は何が待っているのか！期待に胸躍らせながら、チームの3人が集合。チーム絶望は、絶望的な状況でもあきらめずに光を見出す最強チームです。私、絶望のやまさんは、謎解きも宝探しもポンコツながら、行動力でカバー。さわんだー&八ツ橋夫妻は、謎解きも行動力も素晴らしいものがあります。

優勝賞金は一千万！今回は2ステージ制ということで、初日は15チーム中10チームが翌日に進めるという過酷な条件。与えられたミッションを達成し、20のキーワードをどれだけ集められるかというもの。ミッションは3種類で、謎を解いた先で行う「パネル探しミッション」、条件の人物を探す「対人ミッション」、特定の店舗でミッションをクリアする「店舗ミッション」の3種類、合計20個をいくつかクリアし、どれだけ早く報告できるかというもの。なんととしても10位以内に入りたい！

スタートの合図で問題を見ると、あらかじめ遊園の文字が見えます。即座に私は都電荒川線の駅まで急ぎます。さわんだー&八ツ橋夫妻は日ごろから鍛えた謎解き力に加え、問題を整理していきます。初日は3人が分散して、チームの総合力を求められるステージです。

最初に着いたあらかわ遊園。気は焦りますが、まずは「あらかわ遊園へようこそ」の看板を探します。あった！問題は・・・どうやら17文字のものから文字を拾う問題のようです。看板の下に俳句が！なるほど、5・7・5の17文字から文字を拾えばいいのか！「みどりのころも」そうかそうか、緑の服を着ている人を探せば・・・って見つからない。どんどん時間が過ぎて焦るばかり。しかたなく入園券を購入して、あらかわ遊園内を探し回る。みどりの服の人が・・・いた！「あの一、宝探しの・・・」と聞くと、ポカーンとすご婦人。どうやら違ったようだ（涙）そそくさと園を出て、少し離れた方向へ歩くと緑っぽい服を着た方が。おそるおそる合言葉を伝えると、「正解です！」一個目から死にそうなエネルギーを使ってしまいましたよ。

そんなこんなで苦労しながらも3人で手分けしてキーワードや対象人物を探していく。これならば2時間以上残して20個のキーワードがそろわないのではないか・・・と思った矢先、さわんだ一君から「荒川2丁目駅」付近にあるはずのキーワードが見つからないと。最後の一つであったため、全員で手分けして探す。が・・・条件に当てはまりそうな場所はあるのだが、設置物がみつからない。範囲を広げて探索を続けていくも、刻々と時間が過ぎる。

ここで大きな決断を迫られる。もし多くのチームがこの難問をクリアできないと仮定すれば、19個で多くのチームが並ぶことになる。そうすると、報告時間の早いチームが明日のセカンドステージに残ることになる。かといって、ここで早々に諦めて多くのチームが20個すべてをクリアし報告したら、我々は2日目には進めない・・・。

とうとう我々は最後の一つをあきらめる決断をした。これはトレジャーハンターとしては、非常に残念で悔しく厳しい選択である。しかし、時にはあきらめて前に進む覚悟も必要である。

19個集めるまでは、我々のチームは最高のパフォーマンスだったと思う。ベストは尽くした。早々に一つを諦めたのは、ある意味一つの大きな勝負である。なんとか二日目に続いてほしいという祈りは天に通ずるのだろうか？3人の挑戦は明日も続くのであろうか？？？
乞うご期待！

川 総合ポ ー ツ セ ン タ ー
Arakawa Sog Sports Center





1890 J.G. Brill









各地のミッションをクリアし、キーワードを集めて
皆さんの働きに期待している。

を集めよ。

MISSION

1. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

2. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

3. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

4. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

5. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

6. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

7. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

8. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

9. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

10. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

11. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

12. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

13. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

14. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

15. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

16. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

17. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

18. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

19. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

20. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

MISSION

21. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

22. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

23. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

24. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

25. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

26. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

27. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

28. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

29. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。

30. 奥山公園へ行け。奥山公園の中心にあり、大きな木がある。







第二回 G1 チャンピオンシップ 第二日目

チーム絶望：絶望のやまさん、さわんだ一、八ツ橋

初日の結果発表。我々は1ポイントを諦めて、なるべく早い報告を選択した。これが吉と出るか凶と出るか、祈るような気持ちで発表を待つ。1位の得点は満点の20点。2位のチームも満点。どうなるのか・・・「3位、チーム絶望！」やった！二日目に進めるぞ！

思えばクリアした19個所も決して楽ではなく、かなり苦労したポイントもあったので、3人のうち誰かがどこかで1か所諦めていたら二日目に進めることはなかった。また最後に諦めた問題の場所に序盤に挑戦して詰まっていたら、これほどスムーズに進めることはできなかつただろう。いろいろな意味でギリギリの通過であったともいえる。

宿泊するホテルに到着すると、フロントのおばちゃんが、「なんだか賞金一千万円の宝探し大会が開かれてるそうですよ。すごい大会があるんですねー。」別の参加者から話を聞いたのだと思うが、思わず「情報通ですね！」と言ってしまった（笑）でも、それだけすごい大会に出場してるんだよなあ。明日も頑張らねば！絶対に財宝を見つけるぞ！！

いよいよ勝負の二日目が始まる。緊張も最高潮の中、いよいよ大富豪の財宝を見つけ出す宝探しがスタート！各チームが一斉に動き出す。はやる気持ちで我々も都電の駅へと移動を開始したものの、最初に与えられた3つの問題が予想外に難しい。最初から難問がならんでいる。

とっつきやすい3番目の問題は暗号解読だ。漢字コードを変換。「図書館」だ！数字の羅列はスマホでの文字入力イメージで・・・「ゆいのもり」！！昨日諦めた問題で探索した図書館である。3番目の問題がおおむね解けた為、目的地に向かって移動しながら他の問題を考えることに。

電車での移動中も問題から目を離さず、ひたすら考え続ける。最初のポイントに到着。現地探索はやや難航し、最上階からワンフロアごと入念に探索していき、最後の最後に1階で木の札を発見！息つく間もなく、残りの二つを解きにかかる。しかし謎が解けない。

2番の問題の方は、どうやら公園を指しているようだ。文字を変換していくと「公園遊園」と出てきた。問題文の瑞光橋公園の下に、この問題と同じ途切れ途切れの赤点線が引いてある。「井戸」、「塔」、「花」の先に目的物があることは想像できたが、肝心の最後の詰めが今一つでどこの公園なのかははっきりとしない。動いて考えようとあらかわ遊園前の公園に向かったが、見事に空振りし長時間のタイムロス（涙）

1 番目の問題は解き方の糸口さえつかめず、時間が過ぎていくことに焦りを覚える。これはかなり厳しい戦いになりそうだ。暗号のような文字も読めず、赤いペンで書き消したような跡も何を指しているのか読み取れず。グーグルレンズで画像検索するも該当するようなものは出てこない。神社ではないかと推測していくつか行ってみるが、どうも違うようだ。

並行して 2 番目の公園の問題について範囲を狭めていき、天王公園へ。手汲み式の井戸はある。その先に「塔」と言っただけのオブジェもある！その先に・・・花壇がある！！そこに見事二つ目のキーワードはあった！！

さて、ここからだ。解けていない 1 問目。どの情報を使ってよいかわからないままでは目的地がどこなのかさっぱりである。ただどこかの施設の入り口であることはわかる。7 フレーズの謎の文字。7 種類ある何かを指すのか？さっぱりわからないまま時間が過ぎていく。

ここで作戦を変更。2 番目と 3 番目の目的地で発見した二つの単語は問題文を使って数字に変換できることから、三つの文字列がどうやら緯度と経度をあらわしていることはわかった。これから残り一つの文字列を推測できないか考え始める。報告場所の瑞光橋公園へ移動しながら知恵をしぼり、グーグルマップとにらめっことなる。

移動の最中、石浜神社に寄る。ここは何かありそう・・・と、明らかに先のステップを見つけてしまった。まだ先は長そうだ。絶望的な気分になってくるが、まだ諦めない。

瑞光橋公園にて、指定された人物に推測したキーワードを伝えるも、違うようだ。まだ序盤なのはわかっているが、突破できない。悩む、悩む、悩む。そして時間切れが訪れた・・・。

初日、離れて連絡を取りながらのチームプレーは、すばらしいものだったと思う。緊張もしたが楽しかった。そして迎えた勝負の二日目は、なんと 1 問目に躓いて、そこを回避する策に精一杯エネルギーを注いだものの、突破することは叶わなかった。

しかし、3 人で一緒に行動し、助け合い、精一杯挑戦できたと思う。悔しい？そりゃあ悔しいですよ。でもやはり仲間力で力を合わせ何かを成し遂げることは、それが失敗に終わっても、心に刻まれる記憶となって残るのです。しばらくは口惜しきで眠れない夜を過ごすことになるでしょう。次回こそは、我々チーム絶望に光を！！









自敷車
進入禁止

奉

石家神社









☺
征へ〜〜るるる



おはよう
おはよう
おはよう